

令和4年度 第7回 委員部会運営委員会(定例会)議事録(案)

日時：令和4年10月27日(木) 午後2時～

会場：国分寺市本多公民館 2階 講座室

出席市：国分寺市(田中)、国立市(野口)、福生市(渡部)、狛江市(内海)、東大和市(新井)
昭島市(三木)、町田市(西澤)、小金井市(吉田)、小平市(鈴木)、日野市(須崎)
事務局(久保、榊)

欠席市：西東京市(西原)

記録：狛江市(内海) (敬称略)

1 開会

部会長より (国分寺市)

- ・10月1日の委員部会研修会お疲れ様でした。後で、ふりかえりの場がありますので、皆さまよりご意見を頂きたい。概ね成功したのではないかと思います。特にグループワークが良かったというご意見があります。

⇒意見交換ができることのよさ。また、テーマにあった議論があると良かった。

- ・事務局より資料の確認

2 報告事項

➤ 都公連企画委員会 (10月5日)について <野口副部会長代理出席>

- ・支援金・調整金の申請、会費の納入について。
- ・研究大会運営費・各部会研修大会謝礼についての検討。
加入促進文書、発送済み。
- ・全公連の永年勤続表彰に、佐藤氏(福生市公民館)
- ・研究大会の審議について、本来、午前中から午後にかけてだが、長すぎるという意見があり、午後だけとし、短くすることとなる。

基調講演・講師については、東海大学の池谷先生に決定。

⇒12月23日(14時～) 小平中央公民館にて会議があり、企画委員会のメンバー出席。

部会長・副部会長に出席要請。

- ・国の方針が、中教審(中央教育審議会)により、公民館のデジタル機能の強化することが決定となり(国立市のヒアリングもあり)予算を増やしたらどうかとの意見あり。

⇒文科省のHPにあり。

<課題別集会について>

- ・課題別集会は、日野市と国分寺市であり、国分寺市においては、委員部会と市と二つの課題別集会がある。(一つは、小平市、もう一つは、国分寺市が会場となる)

- ・第三課題別集会は、西東京市・職員部会が担当。会場は、柳沢公民館。
- ・第四課題別集会について、会場が小平市になるか、国分寺市になるか、決まっていない。
準備などを考慮すると、国分寺市で開催したい。(職員のかたの協力も得られる。)
山本職員と大矢顧問の発言より、基調講演が録画されるので、13時～14時は録画を観て、
14時～16時半に課題別集会の内容ではどうかのお話があった。
⇒(老人が)三時間半も耐えられるかとなり、検討中。

謝礼について・・・

基調講演講師料	30,000円
助言者	20,000円
事例報告者	5,000円 / 1件

【配布資料参照】

- ・第一課題別集会のテーマは、「明るい兆しの中で～コロナ禍の公民館を振り返る～」
- ・第二課題別集会のテーマは、「地域に広がる・つながる公民館になるためにどうしたらよいか」
助言者：倉持伸江さん（東京学芸大学教育学部准教授）
- ・第三課題別集会のテーマは、「地域課題をどうやって捉えるのか」

3 協議事項

- 令和4年度第6回委員部会運営委員会（定例会）議事録（案） ⇒ **承認**
- 令和4年度委員部会第1回研修会のふりかえり（10月1日開催） 【配布資料参照】
 - ・初めて参加したが、よかった。
 - ・久しぶりにグループワークを行ったが、皆さんの声が聴けてよかった。
 - ・全体的には、いい形でできたと思う。シンポジウムでカバーができた。
 - ・グループワークは、好評であり、意見交換ができることは、参加者にとって大きく、盛り上がる。
 - ・描いたグループワーク像としては、私たちが考えるテーマにあった「コロナ禍における公運審議の動き・・・」に的を絞った議論と発表の場にならなかった。
事前の準備でファシリテーターの人達と打合せをするなどしてもよかったのでは。
 - ・内容として、やりたいことが缶詰状態だったので、項目ごとの時間配分が足りなかったかな。
2月4日の研究大会では、余裕を持って進行したい。

※田中委員部会長より、配布資料の記録に沿って要約が述べられました。

- ・国分寺市は、コロナ禍アンケートを取り、早い段階で答申をしている。東大和市は、思考停

止状態で安全第一である。この差を公運審で重く受け止めて、受け身ではなく、攻めになるとよい。

- ・公運審について市によって温度差があり、活発に活動しているところもある。
委員部会に加盟している市においてだけでも、共通のマニュアルなどで、目標を定めると具体的に動きやすいのではないか。
- ・存在価値のある公民館にするために、三位一体となり公民館を大事にしていこう。

最終的に… 記録と写真を提供し、都のHPにアップされる予定

➤ 都公運研究大会第4課題別研修について

⇒ テーマについて検討

- 事務局にて、先の研修会のアンケートよりキーワードあり。

- ◇ 次の世代に公運審をどうつなげていくか
- ◇ コロナ禍で見えてきた課題と人権・命の関係
- ◇ 対面とデジタルの両輪
- ◇ 公運審の弱体化
- ◇ 若い世代の取り込み方
- ◇ 事業評価

- ・委員より…通常だと、“過去の公運審はこうだった、テーマはこうでした”一覧表があり、“今年はどうしますか？”となるが、先の研修会アンケートよりキーワードがあるのがよい。

「公運審の弱体化」「次の世代に公運審をどうつなげていくか」などは、おそらく、公運審の方が書かれたのではないか。

11市、各市にいる学識経験者の方の話を聞くのはどうか？つなげて、グループワークをするなど。「次の世代に公運審（公民館）」または、「公運審の弱体化」ということで問題視してはどうか。

- ・委員より…市民で公運審を傍聴された方が、公民館に興味を持ち、公運審が市によって違うが、“公運審って何をしているんだろう”と思い、PRがされていない。マニュアルがあり、市民の意見が反映されることを知らない。次の世代に公民館・公運審を良くしていこう、公民館に行ってみようと思う

人の意見を挙げるためにも、“若い世代の取り込む”ためにテーマを柔らかく“公民館をどうつなげていくか”など、簡単なのがいい。

(案)「次の世代に公運審（公民館）・・・」のキーワードを入れてはどうか。

「若い世代を取り込む各市の工夫」

第 59 回東京都公民館研究大会では「コロナ禍を乗り越え、進化する公民館」とある。

- ・ 田中委員部会長より…グループワークになった時には、副題として「～公運審がどうあるべきなのか～」を含めて話をして頂きたい。

公民館があつての公運審である。公民館がどうあるべきかを大々的に定義する。

- ・ 事務局より…他のところをみると、公民館直接にスポットを当ててない。

次の世代に公民館をつなぐとして、サブタイトルをどうするか。

- ・ 委員より…「若者・子育て世代が考えるこれからの公民館」と、柔らかくし、グループワークでも自由な意見が求められるのではないかな。

結果

テーマ 「若者・子育て世代が考えるこれからの公民館」

- * 12 月に内容を煮詰める予定

⇒ 助言者について検討

※ 10月29日 事務局より連絡あり

研究大会（第四課題別集会）の助言者として、予定をしていた青山鉄兵文教大学准教授は、スケジュール調整がつかず、学芸大学・柴田紗千子准教授より、学生派遣も含めご承諾をいただいたとのこと。

➤ 公民館調査の調査項目について

現在、修正をかけている。

- ・ 皆さんの意見を反映し、12 月中に検討する。

4 情報交換

* 西東京市

- ・ 欠席

* 福生市

- ・ 配布物・・・「公運審だより」「第 52 回福生市民 文化祭」
- ・ 毎年、文化祭の表紙の書は、各書道団体の先生などが書かれる。 ➡ 派手さよりインパクト
去年、一昨年と文化祭は中止であり、今年、三年ぶりの開催となる。
規模は縮小されるが、現在始まっている。中学校の合唱コンクールを皮切りに始まる。
- ・ 委員の渡部さんが、書道の展示と新舞踊の舞台を披露。(11月6日：10時～)

- ・「公運審だより」より、リモートにて“音楽サークルのつどい”開催
- ・10/22・23 「だれでもなんでも展」の文化祭の展示部門が終了
⇒4年前は、台風の為二日前に中止となり、その後、コロナの影響で開催できず、4年ぶりの開催であった。
今年、展示と演示を別日で行った。⇒好評だった。

* 狛江市

- ・配布物・・・広報「こまえ」・「公民館だより」（第58号）・「まちの縁側づくりのススメ」
- ・10月25日(火)第6回 公運審開催
⇒2月答申予定の「新しい生活様式における公民館事業のあり方について」内容の検討
- ・広報「こまえ」に公民館事業の募集記事あり
⇒「こまえ市民大学」

* 東大和市

- ・配布物・・・「東やまと市報」・「市民文化祭」・「上北台公民館だより」
- ・10/15～11/3 「市民文化祭」～育もう 未来へ続く東大和の文化～
主催：東大和市・東大和市教育委員会・東大和市文化協会
⇒展示部門の“ネット時代のまちおこし”とは…？（質問を受ける）
生涯活動系で、HPで東大和市の魅力を発信・拡散
自治会の回覧板をスマホで観られるようにした

* 昭島市

- ・配布物・・・「公民館だより」・「社会文化セミナー」・「ふれあいコンサート」
- ・令和4年度昭島市公民館主催社会文化セミナー
「ひきこもる心を知る」 ～誰もが取りこぼされない社会へ～
8050問題、9060問題ということで、地域にいろいろな方がいらっしゃることを
知って頂くために開催
二週にわたり、講師：池上正樹氏をお迎えし開催
- ・クリスマスコンサート開催
- ・第21期公民館運営審議会委員決定（R4.10.1～R6.9.30） <三木さん再任>
⇒委員さんはいろいろな団体の推薦より集まり、“公運審って何？”という委員さんもいる。
昭島がしっかりやっていく中で、公民館の利用をしていない、部屋の備品、陶芸の釜の場所

だったり、基本的な位置からやってみる。11月には、公民館を探検し、自分たちの公民館を原点に戻り見つめ直す。そして、何が古く、何が新しいか、何が足りていないのか、何があるのか見つめ直す。今年の公運審は“体験型”とし、その後、社会教育法など、テーマ的に戻り、公運審のあり方を見直す、21期にしたい。

新藤先生が会長を務める。

- ・「公民館まつり」の開催状況を教えて欲しい。

Q、どの様に？誰が主催？予算は？どの様な話し合いで？…など教えて欲しい。

昭島市では、公利連（公民館利用者連盟）に属す30くらいの団体が公民館まつりに参加する権利がある。

任意で公利連に入るが、任意で入ること自体を知らない。“公利連って何？”という団体が多い。公利連のPRが必要。公民館まつりを5回ほどしか開催されていない。

A、東大和市：公民館利用者で実行委員会を立ち上げる。公利連に入っていないなくても出店できる。市より補助がある（70,000円くらい）。

福生市：「だれでもなんでも展」であり、“まつり”とうたっていない。地域の皆さんだれでも、なんでもとして、受けている。公民館主催ではなく、実行委員会。

実行委員は、市民から募集している。

ただし、公民館により扱いが異なる。模擬店の売上金は基金とし、貯めて翌年に充てる。

小平市：定期利用している団体には“まつりへの参加”を依頼している。

友の会で実行委員（役員10名）と公民館で共催。

小金井市：実行委員会中心に展開。

企画委員がメインイベントを考える。

町田市：「センターまつり」として開催。参加団体が6～7割減ったが、当日、他のまつりと重なるため、コラボしての開催としている。スタンプラリーなどを行い、かなりの集客が得られた。

公民館であると同時に生涯学習センターでもある。地域密着とし、市民支援センターにおいてもまつりを行っている。

⇒今後は、コラボをしたり、多方面で行っているおまつり的なものを整理していきたいと考える。

日野市：出張公民館（R4. 11/23）とし、公民館から飛び出して、原っぱなどで行う。

実行委員と公民館の職員が話し合いで昨年よりコロナを考慮し館内ではなく、屋外で行う。

陶芸サークルの販売も外でおこなう。作品の展示は期間を設け振り分けて展示。

狛江市 : 地域交流事業委託とし、二か所の公民館それぞれで開催。

利用者団体で実行委員会を立ち上げ、委託金にて運営。

国立市 : ゆったりする文化祭。

コロナが落ち着いても、人が戻ってこない。

国分寺市 : 「市民まつり」は市が行っているので特に所属は無いが、音楽祭に参加したいなど申込みがある。「公民館まつり」は、公民館を利用しているグループが主催であり、実行委員会方式。それぞれの館が特色あるやり方である。

もとまち公民館の場合、児童館と老人福祉センターと、もとまち公民館の三館で一緒になりおまつりを行っている。

いずれにしても、やり方は実行委員会である。

* 町田市

- ・ 10/22・23…まつり開催
- ・ 生涯学習の発表 50～60 あり。
- ・ 市民の課題・ニーズの見直し中

* 小平市

- ・ 配布物・・・「こだいら公民館だより」
- ・ 年4回「こだいら公民館だより」を発行 ➡ 4月・7月・10月・1月
- ・ 三年ぶりに六館にて公民館まつりを開催。日付をずらしての開催。
模擬店は止める。基本的には「音楽祭」
- ・ 公民館主催の講座・イベントの紹介とサークル紹介
- ・ 公運審の委員会は各月で行われ、今回は自主研修会について取り上げる。

* 小金井市

- ・ 配布物・・・「月間 こうみんかん」
- ・ 4月に配属された女性が“新入職員からみた緑分館”として、新しい視覚・視点から緑分館を紹介する。
- ・ ITサポートセンターを本館と貫井南分館の二館で開催。
⇒デジタル化に対応した、パソコンに関する相談を受け付け。
- ・ 公民館本館企画実行委員に菅沼七三雄氏が参加され活動
⇒企画実行委員会には公民館の職員も加わる。

* 日野市

- ・ 配布物・・・「まちゼミ」

- ・お店の人が講師となって講座を開催の一覧
- ・「スマホ使い方講座」 ⇒ ご高齢の方対象に“PayPay・日野市公式LINE”のインストールを学ぶ。
- ・たま学びテラスにて「関戸地球大学院」開講講座開催
⇒講師…大妻女子大学・恵泉女学園大学・国士舘大学・多摩大学・東京医療学院大学
講座の集客を利用して公民館を知ってもらう。

* 国立市

- ・配布物・・・「くにたち公民館だより」
- ・答申がまとまる。本編が50・別冊38
⇒学識経験者に近い方々の集結で1年かけて作成。
- ・10月で任期満了…教育長の下に委嘱。
- ・毎年作成の「公民館館長新聞」・「職員人事」について。
- ・“国立公民館守る会”より、公運審に対し、公運審と市民の会合要請あり。
⇒役所×公運審 より 市民×公運審
- ・問題として、あと二年くらいで、10人に4人が65歳以上。予算は全国でもワーストである。
老人問題をどうするのか。老々介護の組織づくりをおこなう。…公民館も避けては通れない。
楽しいだけではダメ！また、国立市は意識が高いので、助けを求めない人が多い。
- ・社会教育と共に、市民と利用者のパネルディスカッションを開くと、参加者が多く、ガンガン市民より意見がでる。

* 国分寺市

- ・配布物・・・「けやきの樹」
- ・もとまち公民館…切り絵をもって まちさんぽ⇒子供向けの講座は、PTAの一斉メールを利用。
没後60年 児島善三郎が日本美術に残した足跡⇒児島画廊を使いインスタライブをおこなう。
- ・本多公民館…中庭を使ったイベント ⇒ 秋のほんわかコンサート（サポート会議との共催）
グループ企画事業 ⇒ 農と食育のおいしい関係（地域で活動の持込み企画）
- ・光公民館…環境講座 ⇒ ミライを変える小さな一歩（ゴミ減量の推進委員とのコラボ）

※次回 11月24日（木） 午後2時～ 記録：東大和市